

足利風 -ashikaga-fu

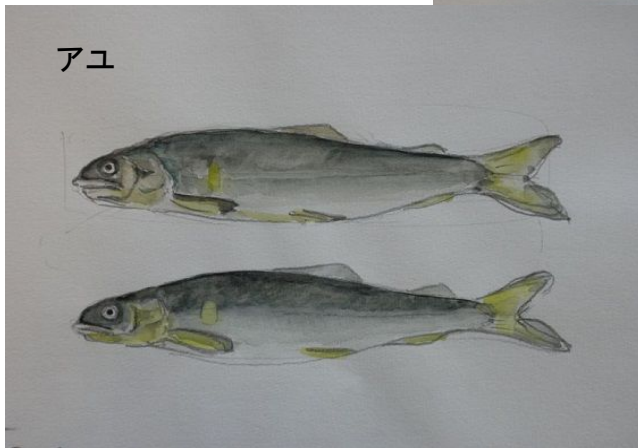
2012
6月号
Vol. 20

あじさい



画:永倉 功

アユ



足利市民活動センター

開館時間：平日 午前10時～午後7時

〒326-0051

栃木県足利市大橋町1丁目2006-3

TEL 0284(44)7311

FAX 0284(44)7312

mail info@shimin-act.jp

HP <http://www.shimin-act.jp>

☆ ご案内 ☆

- *特集！
- *TOPICS
- *私のボランティアことはじめ
- *サークル紹介
- *インフォメーション
- *センターからのご案内

* 逆境に会わねば咲かぬ花もある *

「絶望の中に希望の芽は萌(きざ)す」～近隣に住む団塊の世代の俳人の句である。他にも、同じ時代を歩いて来た者には心の奥深く琴線に触れる句がある。～「最後には俺も風かよ山頭火」「今は昔ゲバラはゲバラの夢だった」「負ける時何かが一瞬見えるんだ」「忍ぶとは心に刃(やいば)か そういうことか」

「娑婆羅(ばさら)とは一人ぼっちの祝祭だ」「春の果て風は修羅から吹いて来る」「桜咲き娑婆羅娑婆羅と娑婆の春」。。

桜と言えば福島三春。特に去年から今年の桜は、バサラの桜の様相を魅せているように思えた。そんな時に、「苦海浄土」で水俣病の悲惨を描いた石牟礼道子さんの言葉を聴いた。目には見えないけれども、恐ろしい非人間的なものを連れて来た“近代化”。それが、水俣や福島を汚染し、数多くの無辜の人たちを長年暮らして来た、ふるさとの土や水から切り離してしまった。ナマ木を裂くように残酷に。

浪江町から秋田に避難している農業青年がいる。雑草一本をも見逃さず、美しい田や畑が評判の好青年だった。許可が出て、一時家に戻ったが、伸び放題の雑草の一本も抜くことが許されなかった。。悔しさの余り、血の涙が出たと話してくれた。



「植物・動物・・生きているものは千草百草、全部呼吸をしている。その呼吸を人間の力で出来なくさせている。人間しかいたしませんもの。そんなこと」と、石牟礼道子さんは語る。～「知らんということがいちばんの罪。それで、知らん人のためにも、自分のためにも・・祈ります。」

(M生)

* 「陸前高田桜ライン311、そして福島。。」 *

3月22日(木)東日本大震災「がんばろう 東北！」現地ボランティア報告会 part4が、陸前高田の桜ライン311代表・橋詰琢見さんをお迎えして足利市民活動センターで行われました。ご自身も家を流され、4カ月の避難所暮らしを体験し、現在も、市内のお寺の一角での生活です。「悔しいんです！」。。この悔しさを後世の人たちに伝え続けるために、津波の最大到達点に桜を植えるプロジェクト「桜ライン311」を設立、代表に。。全国的に大きな反響を呼び、支援の輪も広がっている。足利のわれわれも「桜ライン311足利実行委員会」で全面支援に入っている。

4月15日(日)には、現地ボランティア報告会 part5「福島の子どもたちは、いま。。」ということで、郡山から三瓶千香子さん(桜の聖母短大講師)をお迎えして、地震・津波そして原発事故による放射能汚染に見舞われている福島“のナマ”の声をお聴きしました。参加者一同、驚きと感動の連続の現場からの報告会となりました。衝撃の事実とともに、私たちに希望を与えたのは、チェルノブイリ原発事故体験者の「人間って、そんなに弱いもんじゃない！」という一言でした。被災地応援プロジェクト足利風は今後、接続詞・三瓶さんとともに、南相馬をはじめとする福島に関わって行こうと思っています。

(報告 by 鈴木光尚)

* 映像で記録したい 足利 *

～ 足利映像クラブ代表 石川 勝～



2月18日 TVF 東京ビデオフェスティバル表彰式。「これを観た時、グランプリと思った。(会場にどよめき) まだ決まってないですが、。」小林はくどう氏【審査員・ビデオ作家】の講評。松田真実ちゃん殺しの犯人にでっち上げられ、17年半服役した菅家利和さん。再審無罪を勝ち取り、足利で自立していく様子を石川が16分にまとめた「大福とカラオケ・17年半の原点」が、優秀作品賞を戴いた。動画配信され、菅家さんが、冤罪(=度し難い屈辱)からいまだ解放されてない現実の一端が伝わった。私の記録がどんだけの救いになったか、未知数だが、。。

私が34年間、住み慣れた足利。しがらみ根付いた一生物の街。ここのちっぽけな喜怒哀楽を映像に記録することが、きっと広い世界に繋がる。と、確信している。

石尊山梵天祭りを5年程記録してきた。そこに、講元の藍場貞治さんが急逝。無性に「映画にまとめたい」と葬式で誓った。翌年、地区総出で吊いの梵天飾りが山頂に翻った。そのときの 新講元藍場淳一さんの潤んだ臉が祭りの心を語っていた。2010年秋の足利上映会には 貞治さんの家族5人の姿があった。「地域の人々の為に、山岳映画会14年続けている」のではなく、ホントは作品を見せたいからです。毎回満員に埋まり、一定の支持がある事は光栄です。慢心せず、野暮な作品は命取り、と心得たい。

6月24日(日)第1回「手作り映像で観る 足利」と題して、助戸・木村講堂で映画会を開きます。会員の作品の「黎明座ライブ」「足利マーチングバンド」等の演奏記録。「山川長林寺」「サケの遡上」「篠崎孝司の陶器の世界」「大福とカラオケ」等 足利の自然や人びとが主題となった動画映像の世界へ案内します。「映像を学ぶとは、社会や人間に関心と探求心を拓けて深めてゆくことです」(佐藤忠男氏)と自分も思う。映像を通して足利っておもしろいなあ、の風が吹けば・・・と想う。

* 足利歯科衛生士会とは *

堀越悦代

皆さん、歯科衛生士ってご存知ですか？ 歯科衛生士とは、主に患者さんの歯垢、歯石を除去したり、正しい歯磨きの仕方を指導したりする人のことです。時には検診に同行したり、講師の先生を招いて研修会を開催したりしています。足利歯科衛生士会は、足利、佐野に住所のある歯科衛生士約二十名で構成された、情報交換会や勉強会を行う団体です。国家資格である歯科衛生士の資格を持つ仲間が集まり、月に一度、足利市民活動センターをお借りして活動しています。同職だからこそ、同じ悩みを共有できますし、年齢の垣根も越えて共通の話もできる仲間達の、心温まる集まりの場でもあります。現在おりますメンバーは三十代～五十代ですので、フレッシュな二十代の加入も期待したいところです。さて、超高齢化社会が進む昨今『口』の果たす役割がとても重要であるということは皆さんご存知でしょうか。『口腔ケア』を怠ってしまうと口の機能が低下して、食事や会話、呼吸することにも弊害が出てしまいます。お口のケアをすることによって、かなり予防、改善されますので、より多くの人に『口腔ケア』の大切さを知って欲しいと思っています。私達足利歯科衛生士会も、一人でも多くの方が歯の健康を保ち、笑顔でいられるよう会員同士、切磋琢磨しながら努力を重ねています。足利歯科衛生士会に興味のある衛生士の方、ぜひ見学にいらっしゃいませんか。会員も随時募集中です。お待ちしております。

① インフォメーション ①

☆ ボランティア・NPO 茶論

日 時：平成 24年 5月 31日(木) 午後 7時 00分 ~ 9時 00分
会 場：足利市民活動センター フリースペース
内 容：今、全国各地で話題の“まち映画”をテーマに、市民や子どもたちと協働で作品を多数手がけている藤橋誠さんにお話をさせていただきます。
テーマ：「“まち映画”の創り方教えます」

☆「きょうを守る」上映会

日 時：平成 24年 7月 13日(金) 午後 7時 00分 ~
会 場：足利市民活動センター 3F
内 容：岩手県陸前高田市出身の菅野結花さんが東日本大震災後の「今を生きる被災者の姿を記録したい」とドキュメンタリー映画を制作した。菅野さんの実家も津波に流された。当事者でしか撮れない被災者の不安や悩みなどリアルな姿が収められている。

☆ 協賛金を募集

桜ライン 311足利実行委員会では、次の時代が、この悔しさを繰り返すことのないように、今回の津波の到達点を桜の木でつなぎ、後世に伝えたいと思い、協賛金を募集しています。詳しくは、同活動センターまでお問い合わせください。

* センターからのご案内 *

☆ みんなの広場 ~ 6月・7月のご案内 ~

- * 藍紹座藍染展(6月4日~14日)
- * 押し花キャンドル展(6月18日~28日)
- * 山の写真展(7月2日~12日)
- * 尾花繁男 木版画展(7月17日~26日)
- * 日下部悲天 俳句作品展(7月30日~8月9日)

☆ 相談室 & 講座のご案内

- * 相談室 = 毎月第2・第4水曜 午後2時~4時 ※詳しくは、別紙参照
- * 講座 = 毎月1回 午後7時~9時 ※詳しくは、別紙参照

編集後記

被災地のイチゴ農家の方から、「家も苺ハウスも流され、再開する気になれないでしたが、ボランティアの方たちのおかげで、もう一度、苺作りをやってみようという決心がついた」というお話をうかがいました。帰る時、いつまでも手を振ってくださり、胸があつくなりました。(コッペ)

“ 講座・相談室のご案内 ”

【 相談室 】

日付	相談テーマ	相談員
6/13(水)	人が集まるチラシづくり	新楽 正さん (タウン誌編集・発行人)
6/27(水)	日本茶の美味しい淹れ方	菊地 嘉一郎さん (日本茶インストラクター)
7/11(水)	エコ・テープを使ったクラフト	北條 栄子さん (エコ・クラフト・インストラクター)
7/25(水)	被災地支援ボランティア	鈴木 光尚さん (足利NPOフォーラム代表理事)

時間 午後2時～午後4時

会場 足利市民活動センター（旧保健所） 2階 ワーキングルーム

【 講座 】

日付	講座名
6/21(木)	宇都宮まちづくりセンターの地域における役割(宇都宮市)
	講師：安藤 正知さん(宇都宮まちづくりセンター長)
7/19(木)	民話の語り部として生きる
	お話&民話：小池 久仁子さん（おりひめ民話の会会長）

時間 午後7時～午後9時

会場 足利市民活動センター（旧保健所） 2階 会議室

お問い合わせ・連絡先

〒326-0051 栃木県足利市大橋町1-2006-3 (☎0284-44-7311)

“ 企 画 展 の ご 案 内 ”

期間	企画展名	出展者
6/4(月) ～6/14(木)	藍紹座藍染展	藍紹座
6/18(月) ～6/28(木)	押し花キャンドル展	村井 逸久真さん
7/2(月) ～7/12(木)	山の写真展	田中 道夫さん
7/17(火) ～7/26(木)	尾花繁男 木版画展	尾花 繁男さん
7/30(月) ～8/9(木)	日下部悲天 俳句作品展	日下部 悲天さん

展示会場 足利市民活動センター（旧保健所）3階 みんなの広場
（足利市大橋町1丁目2006-3 ☎0284-44-7311）

展示時間 午前10時～午後7時

休館日 土・日・祝